

# TDAC

## 第二回 ツンデレ学会

*Tun-Dere Academic Conference*

共催：第一回いもうと学会

日程 2008年10月12日(日)

会場 名古屋港湾会館 第二会議室

ツンデレ学会 (TDAC) 実行委員会

Mail : tun\_dere\_a\_c@yahoo.co.jp

URL : [http://rin-akaiakuma.sakura.ne.jp/2008tdac\\_vol2top.html](http://rin-akaiakuma.sakura.ne.jp/2008tdac_vol2top.html)

## 第二回 ツンデレ学会 講演論文集

### □ 学会スケジュール

9:30 – 10:00	受付
10:00 – 10:10	開会の言葉（実行委員長 きのこ）
10:10 – 12:00	BT 賞対象講演
12:00 – 13:30	昼食休憩
13:30 – 14:30	特別講演 きのこ
14:40 – 15:00	BT 賞表彰
15:00 – 15:10	閉会の言葉（実行副委員長 無想）
15:20 – 16:00	座談会・講評（大会長 凜♪）



### □ 要旨集目次

◎BT 賞対象公演（講演 12分 ， 討論 7分）

（10:10-10:50） 座長：きのこ

TDAC2-01. 翠星石に見る王道のツンデレ ..... 1  
無想/All things are inane

TDAC2-02. ツンデレを深く味わいたければやはりエロゲでしょう..... 3  
ういんぐ/てきとうなもの

（11:00-12:00） 座長：無想

TDAC2-03. 特殊状況下におけるツンデレ-『強制デレ』-..... 5  
よんだ/奈々色の二次元世界

TDAC2-04. とあるヲタクのミサカ症候群 ..... 7  
あいもん/とあるヲタクの禁書日記

TDAC2-05. 無意識だからこそ強烈なツンデレ効果 case ヴィータ..... 9  
凜♪/あかいあくま. ねっと

◎特別講演（講演 40分 ， 討論 20分）

（13:30-14:30） 座長：凜♪

TDAC2-A1. 一撃必殺の破壊力を秘めたモスキート級王者。  
その名は手乗りタイガー..... 11  
きのこ/ "キノ" この旅

### □コラム

架空空間における「妹」に見出せる意味とその効果についての考察..... 13  
豊/cafefree-style

TDAC2-01

## 翠星石に見る王道のツンデレ

All things are inane 無想

### 1. はじめに

ツンデレとは、「普段はツンと澄ました態度を取るが、ある条件下では特定の人物に対しデレデレといちゃつく」、もしくは「好意を持った人物に対し、デレツとした態度を取らないように自らを律し、ツンとした態度で天邪鬼に接する」ような人物、またそのような性格や様子をいう言葉である。定義は流動的かつ感覚的であり、話し手・書き手の主観に委ねられる。最近ではマスメディアなどに取り上げられ一般的に広まった<sup>1)</sup>。ツン状態とデレ状態のギャップがツンデレの魅力である。

今回は魅力的なツンデレキャラの中でも『ローゼンメイデン』の翠星石を取り上げ、「好きなのに素直になれない」という王道のツンデレの魅力について検証していく。

### 2. 翠星石とは

翠星石とは漫画「Rosen Maiden」、アニメ「ローゼンメイデン」、「ローゼンメイデン・トロイメント」、「ローゼンメイデン・オーベルテューレ」に登場するキャラクターである<sup>2)</sup>。人形師が作ったローゼンメイデンシリーズの第三ドールで、第四ドールの蒼星石とは双子の姉妹である。清楚でお淑やかな外見の持ち主であり、目の色が左右で違うオッドアイが特徴である。また、語尾に「ですう」を付ける独特のしゃべり方をする。

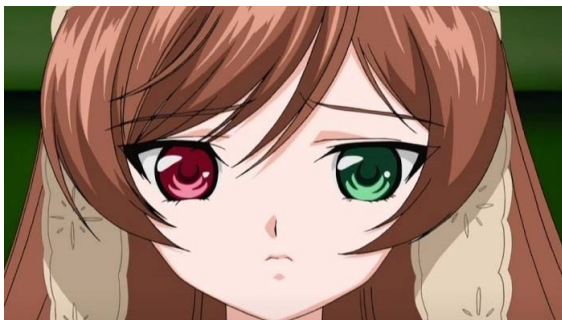


図1 翠星石

### 3. 翠星石の魅力

#### 3.1 翠星石の性格

彼女は外見を見る限り、純情可憐な少女である。しかし、実際の彼女は外見から考えられるイメージとは大きく異なり、性格が悪い。暇さえあれば同じドールである雛苺をからかって遊んでいる。また、ジュンとは犬猿の仲であり、顔を合わせればケンカをしている。

さらに、「チビ人間」・「しやがる」・「しやあねえなー」など乱暴な口調を使用し、前述した口癖である「ですう」と合わせて、「何しやがるですう」・「まったくしやあねえなーですう」など独特の話し方をする。



図2 性悪の翠星石

#### 3.2 王道のツンデレ

前述の通り、毒舌で邪悪な彼女ではあるが実は雛苺などの他のドールの事が大好きであり、本来の彼女達の目的であるドール同士の戦いである「アリスゲーム」に否定的である。

そして、ジュンに対しては「ローゼンメイデン」の第8話で、蒼星石にジュンのことを聞かれ「どうにも頼りないチビなんですよ、私がそばにいてやらなきゃ心配で心配で・・・」と口では文句を言いながらもジュンのことが気になっていることがわかる。そう、彼女は『普段は騒がしいが実は心優しい女の子であり、仲良くなりたいたのに素直になれない』というまさに王道のツンデレなのだ。



図3 王道のツンデレ

「ローゼンメイデン・トロイメント」の第4話では、ジュンと契約したいのに、それを素直に口に出せずに、喧嘩をしてしまう様子が丁寧に描かれている。以下に代表的なシーンを紹介する。

雨の中、傘を持っていないジュンに傘を差し出

すが、「翠星石が契約してやらないと野垂れ死に確定ですわねしやないから・・・」と素直に言うことができず、結局ジュンと喧嘩をしてしまうところは彼女のツンデレがよくあらわれている。



図 4 傘を差し出す翠星石

また夜、眠れないでいたところをジュンに見つかり、「本を読んでいました！」と参考書を逆さまに読んでごまかす翠星石はかなりかわいい。さらには「面白いです！このXって奴はなかなか見所があるです！」とジュンの気を引くために健気に頑張る翠星石は非常にかわいいと言えよう。



図 5 ごまかす翠星石



図 6 一緒に本を読む翠星石

さらに、「ローゼンメイデン・トロイメント」の第 5 話では、ジュンと真紅がいつも一緒に居る事に嫉妬して、ジュンの気を惹こうと掃除や料理を始め。結局、それらの行為は破壊行為に発展してし

まうものの、健気に頑張る姿は非常に愛らしい。



図 7 掃除に頑張る翠星石



図 8 料理にも頑張る翠星石

#### 4. まとめ

以上のことから、翠星石が「好きなのに素直になれない」という王道のツンデレキャラであることを証明することができた。清楚な外観に邪悪な性格というギャップを持ち、好きな相手に素直になれない彼女こそツンデレを代表するヒロインだと言える。



図 9 翠星石こそツンデレの代表

#### 5. 参考文献

- 1) Wikipedia 「ツンデレ」
- 2) 漫画「Rosen Maiden」、  
アニメ「ローゼンメイデン」  
「ローゼンメイデン・トロイメント」  
「ローゼンメイデン・オーベルテューレ」

## TDAC2-02

## ツンデレを深く味わいたければやはりエロゲでしょう

てきとーなもの ういんぐ

**1.挨拶**

知っている方は、サイトでお世話になっております。初めましての方は、初めまして。エロゲレビューサイトをやりながら、日記風見に興味あるニュースとイラストサイト捕捉を行っている「てきとうなもの」管理人ういんぐです。ただの変態です。

今回は、恐らく一人空気読まないで、ツンデレについて語る場でありながらエロゲについて語ってしまうという暴挙をやってしまいましたと思います。

ぶっちゃけ、ツンデレを味わいたければ、気楽にアニメでもラノベでも一般のテレビドラマだってあることはあるわけで。ここで今回述べるのは「ツンデレキャラ」についてですが、エロゲという媒体はツンデレにしる妹にしる幼馴染にしる、キャラクターを絵と背景と文章と音楽とボイスとを組み合わせ、鮮明にイメージ化させることで、深く掘り下げることができるのが魅力ですね。

**2.2006年のツンデレエロゲ**

一つは「もしも明日が晴れならば」の珠美ちゃん。彼女は幽霊払いを仕事としていて、悪霊を払うのに悪霊なりの事情を知ってしまうと仕事にならなくなるという、本当は優しいが故に人を突き放すタイプのキャラ。こういう娘さんが転がり落ちると凄惨なことになります。次に「青空が見える丘」のいおりん。この娘さんの場合は、ちょっと強気で恋愛沙汰には照れちゃう程度のツン度が低いツンデレですが、これはこれで重たいツンデレは苦手という人にも楽しめるソフトなツンデレであり、気軽に楽しめるという意味では成功しているのではないのでしょうか。

**3.明日の君と逢うために**

何かよいツンデレキャラが登場するゲーム、と考えると、最近では1ゲームに1キャラ以上は登場することも増え、ツンデレキャラがいることを売りにするゲームまで出てきています。

選べる数ではないですが、ここは明日君を紹介しながらツンデレについて話すことにしましょう。このゲームで、ツンデレと呼べるキャラは2名登場します。一人は「月野舞」という強気系キャラ。もう一

人は「泉水小夜」という毒舌かつ素直じゃないキャラ。それぞれのタイプのキャラがどういう構造で可愛さを見せてくれるのか。言葉で書いてしまうと陳腐ですが、わかっているても可愛さを感じてしまうのが、ツンデレ好きな変態どもの私たちではないでしょうか。…え？私だけ？またまた御冗談を。

**4.ツンデレボイスはくぎみーのみにあらず**

今回、明日君では泉水小夜役の声優は、伊藤静(の生き別れの姉妹)さんなわけですが、これがまたピタリとハマっています。ツンデレボイスが一番似合うのはくぎみーだと思うのは自由ですが、他にも似合う人がたくさんいる事実を知っていただきたい。エロゲなんて手がだせねーよ、と思う方は是非アニメ「スカイガールズ」一条瑛花、もしくは「ハヤテのごとく」ヒナギクさんの伊藤静さんの声を聞くべき。

エロゲ界では、それ以上に選べないほどには存在するのもまた別のお話。

**5.そして2008年のエロゲ**

2008年は今のところ良作がたくさん出ているいい年だと思います。1月には「さくらシユトラッセ」のルウリィがネコの気まぐれから懐いてくれる過程が凄くよいツンデレだし、「PrincessFrontier」というゲームでは神官のレキ様が真面目から来るツンデレキャラであるし、「Coming×Humming」の鈴香がいい感じに毒舌キャラです。さらに、「リトルバスターズエクスタシー」では追加攻略キャラが全てタイプの違うツンデレキャラでした。おかげで、ツンデレ好きな私にとって今年は凄く充実したエロゲライフを送ることができています。

そして、今プレイしているのはクルくること「ティンクル☆くるせいだーす」。聖沙というわかりやすいツンデレも一興ですが、アゼルという無関心からデレに入るキャラにも注目したいところ。攻略はこれからですけど、これはいいツンデレキャラになると確信しています。

— メモ欄 —



## TDAC2-03

## 特殊条件下におけるツンデレ-『強制デレ』-

奈々色の二次元世界 管理人 よんた

### 1. はじめに

世の中にツンデレという言葉が広まり、日常生活においてその言葉に触れることも珍しくない<sup>1)</sup>。設定そのものは昔から存在しており、ツンデレという言葉として定着したのは最近である。一般的な広義としては、普段はツンツンした態度をとるが、ある条件下においてデレる、というものである<sup>2)</sup>。アニメ界、ゲーム界においていまやありふれたものとなっており、〇〇デレといったツンデレの派生も生じているほどである。

そのように日頃ツンデレに慣れ親しんでいる我々にとって、もはや普通のツンデレに萌えるシチュエーションは少なくなっていることだろう。そこで私は、あるひとつのタイプのツンデレを紹介する。このような場であり大きな声では言えないが、私自身ツンデレ属性はあまりない。しかしそんな私が心惹かれてしまったタイプのツンデレが存在した。そのキャラクターとは、剛炎のソレイユに登場する七式麟というキャラである。そして、通常のツンデレとは異なるため、分類上あえて私は『強制デレ』と命名することにする。以下でその詳細について述べていく。



### 2. 剛炎のソレイユ

剛炎のソレイユは、2008年4月25日に発売されたSkyFish製作の18禁ゲームである。まずおおまかなストーリーを紹介しておく。主人公蒼龍流は過去に妹の記憶以外全てを失い、お寺に捨てられていた少年。ある日突然妹の姿をした何者かに別世界へと連れて行かれ、さらに自分の身体と妹

の体を取り替えられてしまう。そこは自分の世界と建物や風景は似ているが何かがおかしい。精霊や戦乙女、ベルセルクという化け物が存在する普通とは違う世界。そこで麟を始めとする様々なキャラクターと出会い、そして戦っていくことになる。すべては妹と自分の身体を取り戻すため、そして大切な人のために。

作品のシステムはカードバトルを用いた戦闘物である。主人公は麟と、後にもう一人の戦乙女、六式桜花のマスターとなり、この世界の精霊庁という組織に属して敵と戦う。

### 3. 七式麟とその関係

麟のキャラクター設定について述べる。見た目はfig.1のように小さく軍服のような格好をしたロリっ娘である。手には武器である重機関軍刀グラムを携えている。性格はわがままで口が悪く子供っぽい。また、精霊の王様であるから自分のことを麟様と呼んだり、他人に対してもっと敬うようにしろといった態度をとることがある。



fig.1 七式麟

流と麟が出会うのはゲームの序盤である。別世界へと飛ばされた流の元に、精霊庁に召還された麟(正確には違うが)が偶然逃げていて、それを桜花が追ってきたという場面である。麟や桜花ら戦乙女は、マスターと契約しているほうが力を発揮できる。召還されたばかりの麟に当然マスターはおらず、契約をしてしまうとマスターの命令には逆らい難くなるといった制限がついてしまうのである。そこで麟は、ある条件を付けて流と無理矢理契約を結ぼうとする。それは契約の立場上は、麟のほうがマスターとするというものであった。設定として、マスターは戦乙女を使役できる代わりに、その力の行使の代償として自らの魂の寿命を犠牲にする、というのがある。麟はマスターの命令を聞かずに、

かつ力を使える状態に持っていかうとしたのである。

しかしここで不運なことが起こる。ネタばれになりそうなので深くは言えないが、ある事情から麟の一方的な契約は結ばれず、逆に本来のマスターと戦乙女の契約を流に結ばされるのである。マスターとの契約を結んだ戦乙女は、少なからずマスターのことを思いやるようになってしまう。もとの性格が素直でない麟は、本心はそう思っていないのに、何故かマスターである流を案じるような発言をしてしまうのである。そして自分のその発言に納得がいかず、慌てて否定したりする。この「契約」という特殊な条件下で見られるツンデレこそ、『強制デレ』であり、私が麟に魅力を感じる理由なのである。

#### 4. 強制デレ

では実際にその強制デレが発動するシーンを例に挙げよう。場面は麟が流と不本意ながら契約した直後、ひとまずその場にいたベルセルクを桜花と二人で強力して倒したが、今度は桜花と睨み合うシーン。再契約を提案する麟のセリフからその一部始終を抜粋する。

麟「だから、偽精霊(桜花のこと)をぶちのめしたら後で再契約だからな。麟様が主でお前が下僕だ」

流「それは断固拒否する」

麟「なんだとお！？この麟様の下僕になれるというのに何が不満なのだ！？」

流「これでいいじゃないか。麟が下僕、私が主。そのほうが麟だって嬉しいだろう？」

麟「何を言っている！？**とっても嬉しいに決まっているだろう！……んむむぐぐぐぐっ！！**」

このほかにも褒められてつい嬉しがったりするシーンや、黙っててと言われてむーむーい一つも律儀にマスターとの約束を守り、なんで黙ってるの？と聞かれて涙目になる麟を見てるとかなり癒される(\*´д`\*)ただ残念なのは、上記のようなデレが見れるのは序盤の頃で、後半になると麟自身が契約とは関係なく流のことを想うようになるので、これといった強制デレは見られなくなる。むしろ、一

般的なツンデレ、というよりただのデレ状態になるため、強制デレを楽しむことはできなくなる。条件が条件だけに、終盤に見られなくなるのは惜しいが、それでもこのギャップを味わうことは価値があると私は考える。序盤のこの掴みがあるからこそその後の麟のキャラクターが生きてくるとも言えるだろう。



fig.2 強制デレのワンシーン

#### 5. まとめ

ツンデレキャラが溢れ返る中、ここまで述べてきたような強制デレといった特殊なタイプのツンデレが果たす役割は大きいように思う。というのは、世間には私以上にツンデレキャラにはまっている人は数多くいる。いまや容姿や性格がツンデレっぽくなくても、ひとたび「勘違いしないよねっ！別にあんたのこと心配してるわけじゃないんだからっ！」等のテンプレートなセリフがあれば擬似的にツンデレキャラになれる<sup>3)</sup>。しかし、そのような特別特徴のない普通のツンデレにもう飽きてしまっている人もいるだろう。そのような人にこそ強制デレを味わって欲しいと思う。もちろん、強制デレ以外にも、特殊で魅力的なツンデレは存在するし、そうした情報があればインターネットを通じて情報交換を活発にしていけば、さらなる発展が望めるだろう。新ジャンル等の議論をするのも良いかもしれない。そうした基本となるツンデレと、強制デレのような派生した特殊なツンデレとの相互作用によって、これからもツンデレの地位は確固たるものになっていくと言えるだろう。

#### 6. 参考資料等

- 1)先日どこかの雑誌のグラビアのフレーズで確認
- 2) Wikipedia
- 3) 個人的偏見が多感に有り



## TDAC2-04

## とあるヲタクのミサカ症候群

とあるヲタクの禁書日記 名前:あいもん

## 1. はじめに

本論文では、ツンデレキャラクターとの触れ合いにより感染する現代病、『ツンデレ症候群』、特に『とある魔術の禁書目録』『とある科学の超電磁砲』の登場キャラクター『御坂美琴』によってもたらされる『ミサカ症候群』について述べる。

## 2. ツンデレ研究の歴史

ツンデレについて、歴史が浅いながらも様々な議論が酌み交わされてきた。現在のツンデレ研究は大きく二種に分類することが出来る。それぞれ、ツンデレの定義について研究する『ツンデレ定義派』と、ツンデレによってもたらされる感情について研究する『ツンデレ情動派』である。前者の代表的な発明として、ツンデレの代名詞とも言える構文、『べ、別にあんたのために・・・ないんだからねっ』『ど・・・どうしよう、あんなこと言って嫌われたらどうしよう』(ふいぎゅ.1)等の定型化があり、ツンデレ史に残る発明として今も尚語り継がれている。



ふいぎゅ 1. ツンデレ構文例

一方、後者に関しては、個人的な嗜好を叫ぶにとどまる者が多く、終には『萌え』や『個人差』等の一言で片付けられてしまうことが多い。そこで、本研究では、ツンデレとの触れ合いから得られる情動を分析し、より深くツンデレを愛するための礎を築くこととする。

## 3. ツンデレ症候群

ツンデレ症候群の定義は、

ツンデレ特有の行動・思考に触れることに

より、通常では感じ得ない強い情動で心が満たされる症状

である。例えば『ツンが災いして主人公への想いが成就しなかった姿』を見て生じる『切なさ』や、『主人公の事が好きなんだけど照れて思わず突き放してしまう姿』に『悶える』などがそれにあたる。特に、『とある魔術の禁書目録』の登場キャラクター御坂美琴による症状を、『ミサカ症候群』と呼ぶことにする。

## 3.1 とある魔術の禁書目録

『とある魔術の禁書目録』とは、鎌池和馬著の中二的バトルアクションライトノベルである。(ふいぎゅ.2) 『とある科学の超電磁砲』というスピンオフ作品(漫画)も生み出されている。(ふいぎゅ.3)



ふいぎゅ 2. とある魔術の禁書目録(左)

ふいぎゅ 3. とある科学の超電磁砲(右)

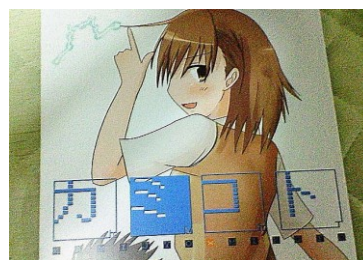
## 3.2 御坂美琴

御坂美琴の特徴と、御坂美琴の主人公との触れ合いの歴史を表で示す。(表 1,表 2)

御坂美琴の最大の特徴は、『主人公となりえる』性格である。他者を慈しみ、努力を惜しまず、明るく元気で、悩むならまずは行動する。その姿を見るだけで何度萌え転がり、何度想いが胸に響いただろうか。このあまりにも主人公らしい属性にツンデレが加わることで、私以外でも御坂美琴に強い好感を覚える者は少なくないと考える。

表 1. 御坂美琴プロフィール

年齢	14
特技	電気使い
必殺技	超電磁砲
性格	努力家、お人好し、可愛いもの好き
特徴	発展途上胸



ふいぎゅ.5 同人誌

表 2. 御坂×主人公 の歴史

巻数	主人公に対する美琴の印象
0巻	なんか腹立つ奴
1~3巻	日常の象徴
3巻	恩人
3~16巻	特別な人(未自覚)
17巻	特別な人(自覚)

#### 4. ツンデレレベル

『ツンデレ(ミサカ)症候群』は、その病状に応じて T1 から T5 までのレベルに分けることができる。ミサカ症候群の、それぞれの病状について表 3 に記す。

表 3. ミサカ症候群

レベル	具体的症例
T1	素直になれない姿にニヤニヤ (ふいぎゅ. 4) 結ばれた後の激しいデレにニヤニヤ 失恋時に切なさで胸がしめつけられる
T2	妄想に浸る 同人詩やグッズを買い漁る(ふいぎゅ. 5)
T3	主人公は自分だ
T4	美琴は自分だけの嫁
T5	SHI☆MO☆BE♪



ふいぎゅ. 4 素直になれず照れるみことん

しかし、T1 ~ T5 の分類を改めて見直した時、T5 を遥かに超える病状が存在することが確認できた。しかし、その病状を明確に定義することが出来なかった為、詳細な説明は省くこととする。

#### 5. まとめ

本論文では、ツンデレにおける『ツンデレ(ミサカ)症候群』の定義と、簡単な症例について述べた。『ツンデレ症候群』については、今後の研究によって、より詳細な定義がなされるであろう。ただ一つ、重要なことは、例え自分の症状が T5 であったとしても、それが悪いわけではなく、優れているわけでもない。ただそのレベルがそのキャラクターに対する愛情度であり、自分がそのキャラクターに対する想いを確認するための指標とすべきである。

#### 参考文献

- [1] 春原つめあわせ  
<http://www.nicovideo.jp/watch/nm4719638>
- [2] ツンデレはただの記号ではない  
2006 著:あいもん
- [3] 生きるということは難しい、ツンデレを愛することはさらに難しい  
2007 著:あいもん
- [4] とある魔術の禁書目録  
著:鎌池和馬
- [5] とある科学の超電磁砲  
原画:冬川 基 原作:鎌池和馬
- [6] カミコト  
著:式(no replay)  
<http://no-reply.but.jp/index.html>

## TDAC2-05

## 無意識だからこそ強烈なツンデレ効果 case ヴィータ

あかいあくま.ねっと 管理人:凜♪

1. はじめに

ツンデレとは、「普段はツンと澄ました態度を取るが、ある条件下では特定の人物に対しデレデレといちゃつく」、もしくは「好意を持った人物に対し、デレツとした態度を取らないように自らを律し、ツンとした態度で天邪鬼に接する」ような人物、またその性格・様子をさすと言われている。

但し、インターネットスラングであるが故に、定義は流動的かつ感覚的であり、一致したツンデレ像があるわけではなく、用例も性別、人間・非人間の別に左右されず、関係や出来事に至るまで幅広い。

また、当人も好意を寄せられている相手も、第三者から指摘されるまでツンデレを自覚していない場合が多い。

今回はそのような「無自覚ヒロイン」の一人、魔法少女リリカルなのはシリーズに登場する

「ヴィータ」を主題に取り上げ、考察する。

2. 魔法少女リリカルなのは

魔法少女リリカルなのは(以降「なのは」)は、2004年10月から12月にかけて全13話が放送されたテレビアニメ作品。原作は「トライアングルハート」と言われている。放映以降、第2期の「A's」、第3期の「StrikerS」と制作され、2009年には劇場版が公開されることが決定している。

その中で A's より登場する「八神はやて」の守護騎士の一人がヴィータである。

いわゆる3期の StrikerS では、高町なのはの元副隊長を務めつつ後輩の指導にあたっているヴィータであるが、元々はある事件をめぐって敵対関係にあった。

そのような、異色の設定におけるヴィータを中心に、ツンデレキャラが我々に与える影響・効果について検証を行う。

3. 無意識下でのツンデレ case ヴィータ

なのはシリーズは「一応」魔法少女モノとして制作されているが、ヴィータの登場する A's では「熱血バトル魔法アクションアニメ！」とオフィシャルサイトで公言される程、バトルシーンが多数ある。

その中でヴィータは、初戦でなのはを圧倒して以降、何度となく戦うが、その中で「なのは」の名を上手く発音できずに逆切れしたり、なのはに「高町なんとかっ」と呼びかけたり、無茶苦茶な敬語を使ったりとこの頃からツンデレキャラの一面を覗かせているのである。

無意識下でのデレを開花させるのは、第三期での事である。

以前、なのはが大げがをした場面に遭遇して以来、自分がなのはを守ると誓っている。

「10年の間に守らなきゃならねーもんがずいぶん増えちゃってな・・・」

の言葉に、なのはや主(あるじ)はやて、仲間達を思う究極のデレ(癒しのデレ)が表現されていると言えよう。

一般のアニメやギャルゲーにあるような、「デレデレ」とは趣が異なるが、これこそがヴィータのデレの奥義であり、人々の心に深く染み入る癒しのデレ、究極のデレである。

このように、無意識下であるからこそ強烈に突き刺さるデレがヴィータの魅力である。

4. ツンデレランク

続いて、「ツンデレ」の効果に関して、キャラクターの性格(位置づけ)に着目して解析を行う事とする。

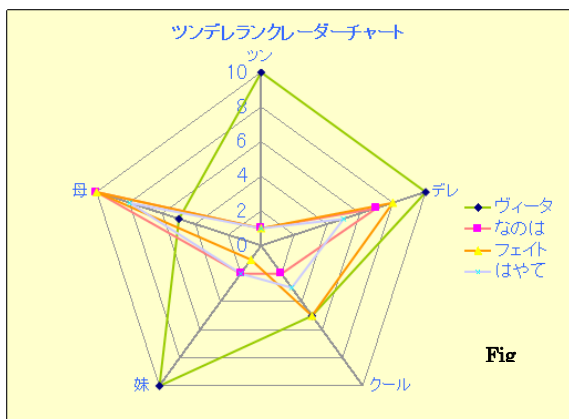
これだけ世に多くのアニメ・ゲームが溢れる中、今回はなのはシリーズの主要キャラに焦点を当てるものとする。

学会の性格上、「ツン」「デレ」は外せないが、それ以外に視聴者・プレイヤーに共感・影響を与

えるインセンティブとして、「クール」「妹」そして敢えて「母」の合計5つをチョイスした。

それぞれの要因に、1~10の評点を与え、それぞれのキャラの評価付けを行った。ヴィータはツンデレはもちろん、はやての前ではまるっきり妹キャラである事を加味して評価した結果、図2の通りとなった。

総合的に見て、ヴィータがツンデレランク 1



位であることに間違いは無い。言うなれば、これほどに隙がない「ツンデレな妹」キャラは類を見ない事が判明した。

また、プライベートでは図3のようなお茶目な面も持ち合わせており、視聴者の心に深く突き刺さるツンデレ効果がある事がこれで明らかになった。



Fig

## 5. おわりに

今回の検証により、ヴィータが「癒しデレ」という効果を持つことが証明され、これまで以上に世の中のオタク連にデレと安らぎをもたらしてくれる事

がわかった。

また、今回の検証に用いた評価付けを「ツンデレランク」と命名し、今後のツンデレ解析に役立てる所存である。

このように、ただ単に「ああヴィータっていいよな」と思わせるだけではなく、ツンデレ解析に有用なツールを後世に残すことが出来るヴィータに一層の愛着を残しつつ、今回の論文を締めくくるものとする。

## TDAC2-A1

## 一撃必殺の破壊力を秘めたモスキート級王者。その名は手乗りタイガー

キノ“こ”の旅 管理人 きのこ

## 1.緒言

ツンデレとは、世間一般にキャラクターの形容語のひとつである。その意味は、「普段はツンと澄ました態度を取るが、ある条件下では特定の人物に対しデレデレといちゃつく」、もしくは「好意を持った人物に対し、デレツとした態度を取らないように自らを律し、ツンとした態度で天邪鬼に接する」ような人物、またその性格・様子をさす<sup>1</sup>。しかし現在、様々な場所でツンデレという言葉が使われるようになり、その定義があいまいになってきている。例をあげると、「まったく相手の気持ちに気付かない」、「自分の気持ちを隠し、ほかのキャラクターの恋路を応援する」などがある。これらは、昔から漫画・小説で使われる表現の一つでありもはやツンデレでも何でもないのであるか、ともいえる。しかしながら、ツンデレとは当事者にとってはあくまで「不器用な好意」「障壁のある愛」という意味合いである<sup>1</sup>ため、こういう表現自体もツンデレであると考えることができる。

それら王道から少し外れたツンデレキャラクターのうち、私は逢坂大河(あいさかたいが) (以下大河)に着目した。タイガーは、とらドラ!という電撃文庫出版のライトノベル(以下ラノベ)に登場するヒロインである。その容姿を Fig.1 に示す。これを見ると、ツンデレの王道である「金髪」「ツインテール」という明確な要素は無いものの、「ミニサイズ」「オーバーニー」「長髪」など、ラノベ界の先駆者であるシャナ、ルイズに通じる要素を持っている。また、この秋からアニメ化されるという事で、非常に人気が高まっている。



Fig.1 逢坂大河

私は今回、この逢坂大河に着目し、どのような魅力を持っているかということ考察・検討するとともに、大河の魅力を通しとらドラ!の素晴らしさについても紹介していく。

## 2.とらドラ!

大河を語る前に、まずとらドラ!から紹介していこう。とらドラ!とはとある学校のとあるクラスを舞台にしたいわゆるラブコメものである。主な登場人物としては、眼鏡な委員長北村、美人で裏表が激しいあーみん、元気な天然娘みのりん、そして凶暴獐猛タイガー。これらの登場人物の関係を Fig.2 に示す。これを見ると、主人公とヒロインである大河の好意の方向がまったくもってかみ合っていないことが分かる。つまり、最初は別の人が好きだが、日常生活を通してお互いの恋が実るように協力していくうちに……ということが期待される、まさしく直球ど真ん中の学園ラブコメなのである。



Fig.2 とらドラ!におけるキャラクター相関図

また、この作品はタイガーだけではなく上記したキャラクターも非常に魅力的に描かれており、そのラブコメ要素をさらに高めている。このような、高次元でまとまったラブコメ要素に、自由奔放な大河の行動が相まって、今後の展開が読めない、ページをめくるのが止まらなくなる作品なのである。

## 3.逢坂大河

大河は前出の通り、ミニサイズなのである。身長は 143.6cm しかなく、スポーツバックの中にすっぽり入ってしまうぐらい小さいのである。また、その容姿に加えて鉄拳制裁発動まで約十秒という凶暴凶悪さ、そして傍若無人ぶりが相まってついたあだ名は手乗りタイガー。竜児いわく、「…ぴったり、じゃねえか…」とのことである。ちなみに、このあだ名は Max Factory さん協力のもと、空想現実化されている。<sup>2</sup> (Fig.3)

このようにその狂暴さから、周りに恐れられている大河だが、まったくもって知られていない部分がある。かなりのドジなのである。しかも恋路方向に関して、その部分は加速度的に強まるので



Fig.3 手乗りタイガー

ある。結局のところ、この部分がいわゆるギャップにつながり、その獐狂さを引き立てているのではないかとも考えることができる。

では次に、大河の魅力について考察していく。

#### 4.手乗りタイガーの魅力

「…結局誰も私のこと、わかってなんかいないじゃない」

この言葉は、1巻巻頭における大河の言葉である。もうすでにこの時点でツンデレ的な雰囲気バリバリ出ているのだが、話はそれほど簡単ではない。出てくるのは北村に向けた真剣な好意、そしてそれに関するドジさ加減だけである。つまり、まったくデレの成分が出てこないのである。それもそのはずで、そもそも好意の方向がすれ違っているため、読めば読むほどこいつら本当に結ばれるのか？と不安になってくる。しかしながら、ツンデレのもう一つの成分である“ツン”のキレが半端ないのである。

「黙れ、クソガキ」

「うるさいな、寄るなエロ犬」

「黙れ、そして腐れ」

「このグズ、何をのんびりと…」

一般人が言われると、立ち直れないようにきつい言葉が湯水のように湧いて出てくるのである。しかし、ココ



Fig.4 切れ味+1

までキツイと「これははたしてツンなのだろうか…本当に口が悪いだけの小娘なんじゃないだろうか」とすら思えてくる。その所為で、「…いくら犬でも、大怪我させたら寝覚めが悪い」という、普通に考えたらひどい言葉でもデレに見えてくるから不思議である。また、いつまでたってもデレないという部分もまた、魅力の一つになっている。大河の切れの良いツンが蓄積すれば蓄積するほど、一体いつデレるのか、そしてデレた時の反動はどれ

ほどなのだろうかと期待が高まってくるのである。これこそが大河の魅力であり、持ち前のドジ属性と相まってギャップが生まれ、さらに引き立っているのである。

また、大河の容姿に着目すると面白いことが分かる。喋



Fig.4 お休みタイガー

らなければ超絶に可愛いのである。Fig.4 を見てほしい。これは大河が寝ているシーンなのであるが、これを見る限りでは、可憐で可愛らしい娘にしか見えない。つまり、内面と外面という新たな面でもツンデレを表現しているといえる。

#### 5. 究極のデレ

そして、その時が訪れる。



「だめだね、私は……………」

#### 6. 結言

以上の事から、大河はキレのあるツンを積み重ねることにより、デレた時の反動を極限まで高めた、いわゆる一撃必殺のツンデレキャラであることが判明した。これは、デレない部分をドジ属性でカバーして程よいギャップを作り、自由奔放な行動で続きが非常に気になるという展開がもたらされてこそ、成功すると考えられる。つまり、大河はツンデレの破壊力を極限まで高めたキャラのうちの一人であり、ツンデレ初心者のもとより、ツンデレ中毒者に対しても十分対応できるキャラだと言える。

#### 7. 参考文献

- 1) フリー百科事典『ウィキペディア』ツンデレ  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%84%E3%83%B3%E3%83%87%E3%83%AC>
- 2) Max Factory とらドラ！ 逢坂大河(1/8 スケール)
- 3) とらドラ！ 小説版:1-8巻、漫画版:1巻

学会コラム

## 架空空間における「妹」に見出せる意味とその効果についての考察

cafe&lt;free-style&gt; 豊

仮想世界における妹とは2種類に大別される。血族において、兄が存在している場合、姉が存在している場合であるが、どちらの場合も普遍的な性格として第一視点から見た場合、対象が年下である場合がほとんどである。

(1)姉が存在する場合(例:夜明け前より瑠璃色な 朝霧麻衣/CLANNAD 藤林椋)

血縁・非血縁を問わず、同作中に姉という存在が登場する場合、何らかの形で比較がなされる。個々の能力であったり、身体的特徴であったりするが、これらは、双方を深く印象付けるためになされることが多い。

元来、人間行動学的に姉妹というものは同一のものとして捉えられる傾向が強い。そのため、作成者によって対比がなされる。髪型であったり、趣味であったりするが、この対比により、分類・分化情報が複雑化し、他のキャラクターよりも印象を強化することができる。

また、大分類において同じカテゴリズがされることが多い——要するに共通点の多い——姉妹という存在は、物語の展開上、多彩な状況を作り上げることが可能となる点も忘れてはならない。

ここまでは同じく姉であるキャラクターの特徴でもある。では、妹であるが故の特徴とは一体なんなのか。

それは、姉の存在による排他的学習能力である。自身と極めてよく似た環境で育つ姉という存在は、妹にとって未知への指針となる。そのため、一般的に妹の方が早熟であるという統計結果が存在する。しかし、このため、思考が論理的に発達し、社会適合能力にある程度の齟齬が出るという見解もある。これは、姉妹間の関係だけでなく、両親の育成指針にも左右されるが、どちらにしても姉という前例があるため、助長する結果にしかなしえない。

この傾向は、年齢が青年期に近づく頃に最も顕著に現れ、「落ち着きのない姉と落ち着いている妹」の図式を形成する。しかし、それは日常時の印象であり、非日常に身をおくと、とたんにそれが逆転する。度胸の差が出るという観点から言えば、CLANNADの藤林姉妹がその典型例といえる。

## (2)兄が存在する場合 (例:リトルバスターズ! 棗鈴/CLANNAD 春原芽衣)

対して、兄が存在する場合はまた状況が異なる。

私達が目にする空想上の兄妹という存在は、兄が一人称である場合とそうでない場合があるが、そうでない場合においても、作中に兄が登場しないケースはまれである。それは、登場させなければ兄妹であるという認識を得づらい為であるのは明白である。このことから、兄妹という関係そのものが大きな意味を持つことが分かる。

兄を一人称で語る場合、妹との関係を自身の感情と交えて表現するが、兄を第三者で登場させる場合、関係の誇示という狙い以外に、どのような理由が考えられるだろうか。

最も多いのが、一人称存在との関係に妹というファクターを挿入した場合の関係の変化、葛藤を表現するという理由である。CLANNAD の春原との関係がまさにそれに当たる。

フロストに「妹にとって兄とは、父の次に親愛を抱き、夫の次に愛情を抱く」と言わしめる兄という存在は、裏を返して、双方「一番」にはならない存在といえる。これは、生物学で言う種の保存本能により、自分と似た遺伝子よりも、異なる遺伝子に本能的に惹かれるという考えに基いている。しかし、事実として多様化する性格や身体能力は、人類の発展や生存能力に大きな貢献を残している。民法で3親等以内の婚姻を認めないのはこの事由に起点する。

しかし、フロストの言葉通り、父と夫の次に身近な存在である事実がある。何らかの事由で幼少時に父親が不在だった場合、ファザーコンプレックス、ブラザーコンプレックスを発症する可能性が高いという病理学的見地からも実証されている。

また、男性には保護本能という本能があるとされ、知らず知らずのうちに妹を保護下に置く。これは、幼少期に特に顕著に見られ、成長と共に対象を変化させていくとされる。原因としては、身近な存在になればなるほど嫌悪点が目立つという近親嫌悪の法則、若しくは、兄、妹それぞれの興味の対象が同年代の他人に移る——要するに好奇心の活性化——ことが考えられる。俗に言う兄離れ、妹離れである。

以上の理由から、妹であるキャラクターの魅力とは、その恋愛関係だけではなく、社会的、生活的関係の描写に大きな意味を持つ点であり、そしてそれが身近な存在である反面、現実の世界では成し得ない状況下で展開する物語を描くという点にあると考えられる。

<了>